



一般質問

9月定例会では、9月12日、13日、14日の3日間に渡り、18人の議員が延べ35項目の内容について一般質問を行いました。

一般質問の内容の一部をお知らせします。

一般質問の様子はホームページでご覧いただけます。

HP アドレス <http://www.gikai-tv.jp/dvl-ashiya/2.html>

あしや秋まつり

高齢者の見守りについて

イーブンあしや
福井 美奈子

すでに西宮市や宝塚市などは、生協、新聞配達店といった民間事業所と協定を締結し、高齢者の地域での新たな見守りネットワーク体制を構築しつつある。これは地域社会における共助の機能を高める事業の一つでもある。この点について本市の今後の展開を問う。

市 高齢者生活支援センターを中心に地域住民や老人クラブ等の地域団体の協力を得て、見守りの必要な高齢者の実態把握をしており生活支援の提供に役立っている。民間事業所との協力については、コープこうべと協定締結に向け協議中である。

芦屋市の福祉は利用者の立場でやっていない

あしや新風会
長谷 基弘

障がい者等がゆずりあい駐車場利用証を受けると、これらの指定駐車場が使い

やすくなる制度が四月一日より開始したが、芦屋市は

駐車場利用証の発行もやっていないし、障がい者等への案内もやらない。これでは制度自体が普及しないし、意味が全くない。

市 パーキングパーミット制度の申請受付は県が窓口のため、市としては昨年度から公共施設での駐車区画の確保や制度についての広報を行ってきたが利用者も少数にとどまり、民間の駐車区画確保も遅れている。県と連携し制度の啓発、拡充に努めたい。

父子手帳の発行で男性の育児参加促進を

あしや新風会
寺前 尊文

イクメンが多くなれば女性の生き方、子どもの成長に良い影響がある。男性の育児参加を啓発するため、父子手帳の発行を提案する。すでに発行する他市では、オムツの替え方、もく浴の方法、妻の精神的ケアの必要性が解説され、とても好評である。早期に取り組みを。

市 育児は父親も母親も

主体的に子どもを育てていくことが重要である。子育てセンターではプレ親教室としてパパママ教室など開催し多くのご夫婦が参加している。父子手帳はプレ親教室でのアンケートでは要望はなかったが、他市の状況も見ながら研究していく。



小籠幼稚園

全国学力調査の結果と介護ポイント制度について

イーブンあしや
松木 義昭

今年四月に実施された全国学力調査の本市の結果はどうであったか。学力が低い子どもたちに対する指導はどうなっているか。伊丹市は高齢者が介護施設でボランティア活動すれば換金可能な介護サポーターポイント事業を始めた。本市でも導入してはどうか。

市 学力調査の結果は速報によれば全校で県と全国

の平均を上回っている。学習指導は支援員導入など落ち着いた学習環境を整え学習意欲の向上を図っている。介護支援のポイント制度導入は事業計画にも示しているが、賛否さまざまな意見があり慎重に検討したい。

市内随所の交通課題提起
市内名所・旧跡の表示を

あしや新風会
徳重 光彦

上宮川橋南側歩道橋は狭い上に段差があり、危険なので拡幅及び段差解消を。JR打出村踏切は万年渋滞解消のため警報時間の短縮を交渉してもらいたい。

芦屋市内には魅力ある名所・旧跡、遺跡や古墳等が多い一方現地表示が少ない。案内板等の増設を要望する。

市 上宮川橋歩道部については段差解消等に向け河川管理者の県と調整を行い、早期改善に努めている。打出村踏切は昨年JRで対策済みと聞いているが改めて要望する。市内の名所旧跡すべてに案内板等の設置は無理だが、必要なものは整備していく。

駐輪場対策について、市役所夏期閉庁について

イーブンあしや 青山 暁

地下に二基二百四台収納、約十秒で出庫できる画期的な駐輪場工コサイクルを早期導入し駅前景観をすっきり改善すべき。お盆に実施した市役所閉庁、節電対策より市民サービス向上のため、繁忙期の振替休日開庁を確立すべき。夏期市施設クールスポットもPR必要。**市** 機械式地下立体駐輪場の設置は景観上からも有効だと思いが現在駅周辺の駐輪場が必要数を確保できずおり検討はしていない。来年度以降のお盆閉庁については御意見等を検証し時期や体制を検討していく。併せて市施設の利用等についても工夫をしていく。

ごみ屋敷対策について

公明党 徳田 直彦

ごみ屋敷対策として生活環境の保全に関する条例を芦屋市も制定すべきと思う

がどうか。

そして、市はいつまでに解決しようとしているのか。目標を定めたスケジュール管理を行い精力的に取り組んでほしい。

市 ごみ屋敷については現行の法律では対応が難しいが、市として条例を制定することまでは考えておらず関係部署との連携を図りながらそれぞれの事案に対応していきたい。最終的な解決のめどは難しいが、計画を立てて取り組めるように検討を行いたい。

電子行政のコスト削減と効率化の推進を求める

公明党 帰山 和也

本市電子システム経費は、平成三十二年までで約二十億円。共同型自治体クラウドなどによりコストの削減を図るべき。合わせて、利用の少ない電子申請をコンビ二での証明書発行に換えるべき。また、学習障害児用の電子教科書(デザイン教科書)の早期導入を。**市** システムの共同利用については更新に合わせ切

りかえる方針だが、市独自の制度などの課題もあり先行事例等の情報収集に努めたい。コンビ二交付についてはマイナンバー制度導入の動向を見ながら検討を行う。デザイン教科書については研究を重ねていきたい。



小植幼稚園

信頼に基づく行政運営について

あしや新風会 いたう まい

市民参画を推進する「まちづくり」において、市民と行政間の信頼は不可欠である。条例というルールを用いながらも、市民の想いや要望を理解するために、関係部署での密な報告・相談体制の見直しと、トラブ

ル時の早期対応により、双方間の信頼維持を願う。

市 行政として、業務執行上で判断に苦しむとき、問題が発生した場合は上司への報告や相談はもとより、関係各課と調整を行い、速やかに対応するよう努めている。不正確な情報の伝達で市民との意思疎通が図れないことがないように、正しい対応を行いたい。

お盆閉庁と電力問題について

日本共産党 木野下 章

電力不足にならないお盆三日間閉庁は結局市民サービス低下だけが残ったのではないか。この夏が示したのは原発ゼロでもやっていけないということではないか。大飯原発再稼働、電力需給について、市民の生命・財産を守る立場である市長の考えは。

市 お盆閉庁では市民から多くの声をいただいたが、おおむね理解をいただいたと思う。次回実施の際は体制の見直しをしたい。大飯原発再稼働については計画

停電等を考えるとやむを得ないものであり、今後は代替エネルギーの確保など、慎重な議論が必要である。



小植幼稚園

いじめ等、学校や教育委員会の対応は

イーブンあしや 中島 健一

いじめをはじめ、学校における諸問題について、教育委員会からの支援は欠かせないものだ。学校と教育委員会の連携を密にするための努力はしているか。また、危機管理についての日常的な研修やマニュアル準備は学校・教育委員会においても滞っていないか。**市** 学校でのいじめ対策と教育委員会の対応につい

ては市の重点目標としており、学校がいじめを把握したとき教育委員会が連携し迅速な支援を行う体制作りをしている。危機管理としては校園長研修等を行い、マニュアルとして文科省発行の手引書を利用している。

平和行政について

日本共産党 森 しずか

被爆者や核兵器廃絶を求める人々の運動は、国連での「核兵器全面禁止条約」締結への協議推進の重要な役割を担っている。地域・学校での被爆者証言の場、「原爆と人間」パネル展など市民と共催で施策の拡充の考えはないか。平和市長会議加盟を機に、総会参加を。考えよう『平和と人権』の催しを工夫しており、今年度は核兵器禁止条約交渉開始を求める署名活動を行うなど、平和施策を推進している。『原爆と人間』パネル展等の共催は考えていない。来年度の平和市長会議の総会は参加する予定である。

中学の歴史・公民教科書の採択について

イーブンあしや
重村 啓二郎

現在使用している歴史・公民の教科書が、変更された学習指導要領にあまり沿っていないという意見がある。今後採択にあたっては、

途中の審議で「絞り込み」や「順位づけ」を行わず、最後の「教育委員会」で教育委員が自らの権限と責任で決めるべきではないか。

市 教科書は文部科学大臣の検定により学習指導要領に適合しているか等を審議し可否が判定されている。本市教育委員会では教科用図書採択協議会の答申と、各社の資料に基づき各教育委員が審査し決定しており問題は無いが、今後、採択事務の透明性を高めていく。

あしや市民の足、阪急バスについて

イーブンあしや
畑中 俊彦

昭和六十二年に高齢者バス半額助成事業は当初予算二千百万円、その金額の根

拠はいかげんであり、その根拠をもとに現在五千八百万円もの税金を阪急バスに支払っている。実際の利用人数分の半額を支払うべきと強く指摘し改善を求めると市長の見解を問う。

市 高齢者バス運賃の助成額算出は京都市の積算方式を採用しており、対象の高齢者の約三割が一月で十二回利用するものとして積算をしている。市としても実際の利用額での助成が望ましいと考えており、次回の高齢者バス割引証更新時までに検討をしていく。



小槌幼稚園

障がい者の自立支援にもつながる就労支援策を

イーブンあしや
中島 かおり

障がい者の就労支援策と

して、作業所等からの物品購入、就労委託等に一定金額を設定すること。来年四月施行予定の法律への取り組みを進めること。事業者や市役所内部でも作業所のPR、仕事内容を紹介すること等、広く積極的な取り組みが必要ではないか。

市 障がい者の就労支援については今後物品購入等による事業者への支援を行うとともに、市役所内職場での短期雇用を考えている。作業所のPRについては各作業所の事業内容を契約事務説明会で庁内各課に周知している。法の内容を踏まえ取り組みを進めていく。

市の未収金対策について

公明党
田原 俊彦

税金など市の未収金管理は、財源確保からみて大切だ。厳正な債権管理を求めたい。一方、納めることが困難な方には、親身な対応をお願いしたい。現在、市税などの口座振替は原則一回限りである。納付者の利便性と収納率向上のために口

座の再振替はできないのか。
市 未収金対策は積極的に取り組みべき課題であり、今後も債権管理に工夫を重ねる。担当者の徴収技術の向上を図り、未収金の確保に努める。口座振替の再振替については水道料金しか行っていないが、市税を含め住民情報システム更新時に検討を行いたい。



小槌幼稚園

芦屋市の節電対策について

新社会党
山口 みさえ

本市は関電の要請を受けて今年の六月からさらなる節電対策に取り組んでいるが原燃に依存しない社会や生活を考える節電対策にしないか。また社会教育施設等

を安価で開放し各家庭の節電を促したり、高齢者へのきめ細かな対策が必要では

市 今夏の節電対策については、原発事故以来、日本全体で取り組むべきものであり、自治体の積極的な取り組みは市民の皆様への啓発になると考えている。社会教育施設等の開放なども来年度取り入れていくべきだと思いが高齢者への節電助成金等は考えていない。

アスベスト検診の広報と検診のフォローアップを

新社会党
前田 辰一

過去に阪神・淡路大震災時のアスベスト飛散に伴う暴露問題をただした。当時の答弁は「特に問題なし」としたが、その後解体作業従事者のアスベスト暴露による中皮腫発症で労災認定

が続いている。今後アスベスト暴露注意喚起、アスベスト検診の充実が必要。

市 アスベスト検診は保健センターで月二回実施している。平成二十年度からは暴露歴のある方に検診カードを配布し、受診を促しているが年々受診者が減少している。今後はホームページ等でPRするとともに個別に受診案内を送付するなどフォローをしていく。



小槌幼稚園

本会議の傍聴について

本会議では審議案が議決される。本会議の傍聴受付は市役所南館4階で行っています。HP等で会議予定を確認してお越しください。

一般・特別会計を合わせ、単年度で15億円の黒字となり、公債費（市の借金）を着実に減少させたことを評価する。決算審査を通じ、職員間に経営管理やコスト意識が醸成されており頼もしく感じたが、部課ごとの温度差は大きい。今後は職員おのおのが「自分が担当課を経営する」との気概を持って公務に精励してほしい。来年度は山中市政にとって10回目の予算編成となる。市長の特色を前面に表した予算を期待する。

ひ

あしや新風会

国の「構造改革路線」で、格差と貧困が拡大してきた。芦屋でも生活保護が増加し、あらゆる指標で貧困化が進んでいる。こういうときこそ悪政の防波堤となる地方自治体の役割が重要である。この年度、老人医療費助成制度が改悪され、国保料は高いまま、待機児童も解消にはほど遠い状況であった。決算では15億円の黒字、市民一人当たり西宮の4倍を超える基金を持つ財政力を、市民を支える施策に使うべきだ。

と

日本共産党

一般会計を含む5会計に反対。低所得者に多くの各種保険料等の滞納が発生している事実こそが市民の生活の厳しさを表している。行政の果たす役割は、そこにどのような手だてを行うかであり、市民生活の実態と向き合った会計決算になっていないことが反対の大きな理由である。次に財政再建のもと、切り下げられたセーフティーネットとしての施策復元は本市の財政基金の状況を見れば十分可能はずだ。

言

新社会党

イーブンあしや

決

芦屋市の財政構造は基幹的な地方税が縮減する一方、交付税や臨時財政対策債への依存度が高まる傾向にある。こうした中で平成23年度の行政運営については医療・福祉・教育の3点を重点項目として取り組んでおり、会派として評価する。しかし、本市も少子高齢化の進展に伴いさまざまな課題を抱えており「芦屋に住んで良かった」と言われるまちづくりを今後も期待する。

創政クラブ

算

決算認定に賛成する。山中市長は就任以来「財政再建は私の最大の使命」と、多くの要望の中で施策の優先順位をつけながら、行革を進め、財政再建に取り組んでこられた。平成23年度も一歩前進したと考える。創政クラブは市政運営で大切なことはまず政策を間違えないことだと考えている。選択と決断が求められている。これからも先見性をもって、しっかり頑張ってもらいたい。

公明党

へ

住民税率のフラット化、リーマンショック後の景気の低迷などにより市税収入は3年連続の減少となった。厳しい財政状況の中で市債残高を636億円と着実に減少させてきている。弾力性に乏しい財政状況にもかかわらずわが会派提案の赤ちゃんの駅、幼稚園での預かり保育、救急医療情報キットの配布、ワクチンの全額助成などの施策の実施を評価する。今後も油断せず着実な財政運営を継続していただいたい。



決算特別委員会で集中審査

賛成多数で平成 23 年度各会計決算を認定



決算審査のようす

決算特別委員会は、一般会計・特別会計・財産区会計の各決算について九月二十六日から三日間集中して精力的に審査を行いました。各委員からは予算執行への市の姿勢や、事業の成果を問うもの

決算特別委員会

- 委員長 寺前 尊文 (あしや新風会)
- 副委員長 福井美奈子 (イーブンあしや)
- 委員 前田 辰一 (新社会党)
いとうまい (あしや新風会)
都筑 省三 (創政クラブ)
木野下 章 (日本共産党)
松木 義昭 (イーブンあしや)
中島かおり (イーブンあしや)
徳田 直彦 (公明党)

など多岐にわたる質疑が行われ、討論ではイーブンあしや・あしや新風会・創政クラブ・公明党が全会計への賛成討論を行い、日本共産党が一般会計等四会計に、新社会党が一般会計等に介護保険事業特別会計を加えた五会計に、それぞれ反対討論を行いました。討論ののち表決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。十月四日の本会議では寺前決算特別委員長が委員長報告を行い、賛成多数で認定されました。

議員研修会

いのちの電話から見えるもの

八月二十日に、神戸いのちの電話事務局長の正岡茂明氏を講師にお招きし、議員研修会を開催しました。神戸いのちの電話は電話相談を通して、多くの人の心のよりどころとなり、自殺予防にも大いに貢献されていますが、その活動はボランティアの方たちの献身的な取り組みに支えられているというお話が印象的でした。



神戸いのちの電話について

編集後記

「見て、読んで、役に立ち、参加して、親しまれる議会報」を目指しています。今回実施された議会報についてのアンケートでは八割が分かりやすくなったという意見でした。紙面に登場する

部活動の中学生や幼稚園の子どもたちは「教育のまち芦屋」で育つ芦屋っ子。高齢化といわれますが昨年度の出生届は八百六十人で増加傾向です。

(編集委員 森 しずか)

議会では委員会重視の運営が行われていますが九月は通常の議案審査に加えて前年度の各会計決算を特別委員会を設置して、数日をかけて集中審査をします。最終本会議では決算認定の賛否を問

い意見は分かれますが、委員会審査の中ではその年に代表で選出された議員がさまざまな視点や分野で税金の使い方を精一杯チェックしています。

(編集委員 山口 みさえ)

12月定例会日程 (予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の傍聴が可能です。ぜひ一度傍聴にお越しください。また、本会議はインターネットで生中継をしています。

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|------|----|
| 11/26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 12/1 | 2 |
| | | | | 議会運営委員会 | | |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 本会議 (提案説明) | 都市環境 常任委員会 | 民生文教 常任委員会 | 総務 常任委員会 | | | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 議会運営 委員会 | 本会議 (一般質問) | 本会議 (一般質問) | 本会議 (予備日) | 委員会 (予備日) | | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 29 | 30 |
| | | | 議会運営 委員会 | 本会議 (表決) | | |

- 本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。
- 傍聴希望の方は事前に時間をお確かめの上、本会議は市役所南館4階傍聴受付、委員会は市役所南館3階市議会事務局までお越しください。